

救急 救助



警防技術交換会は、県内複数の消防本部が連携して、訓練想定に基づく人命救助訓練や火災防ぎょ訓練などを通じて警防技術を披露するものです。菰野町消防署は、救急隊として訓練に参加しました。

警防技術交換会

平成26年10月2日
於：三重県消防学校

救急

平成26年中の救急件数は1,451件、搬送人員は1,408人でした。これは、1日あたり平均3.9件の出場で、町民29人に1人の割合で救急車が利用されたことになります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が915件(65.0%)で最も多く、続いて一般負傷が214件(14.7%)、交通事故が212件(11.7%)、その他が110件(8.6%)となりました。

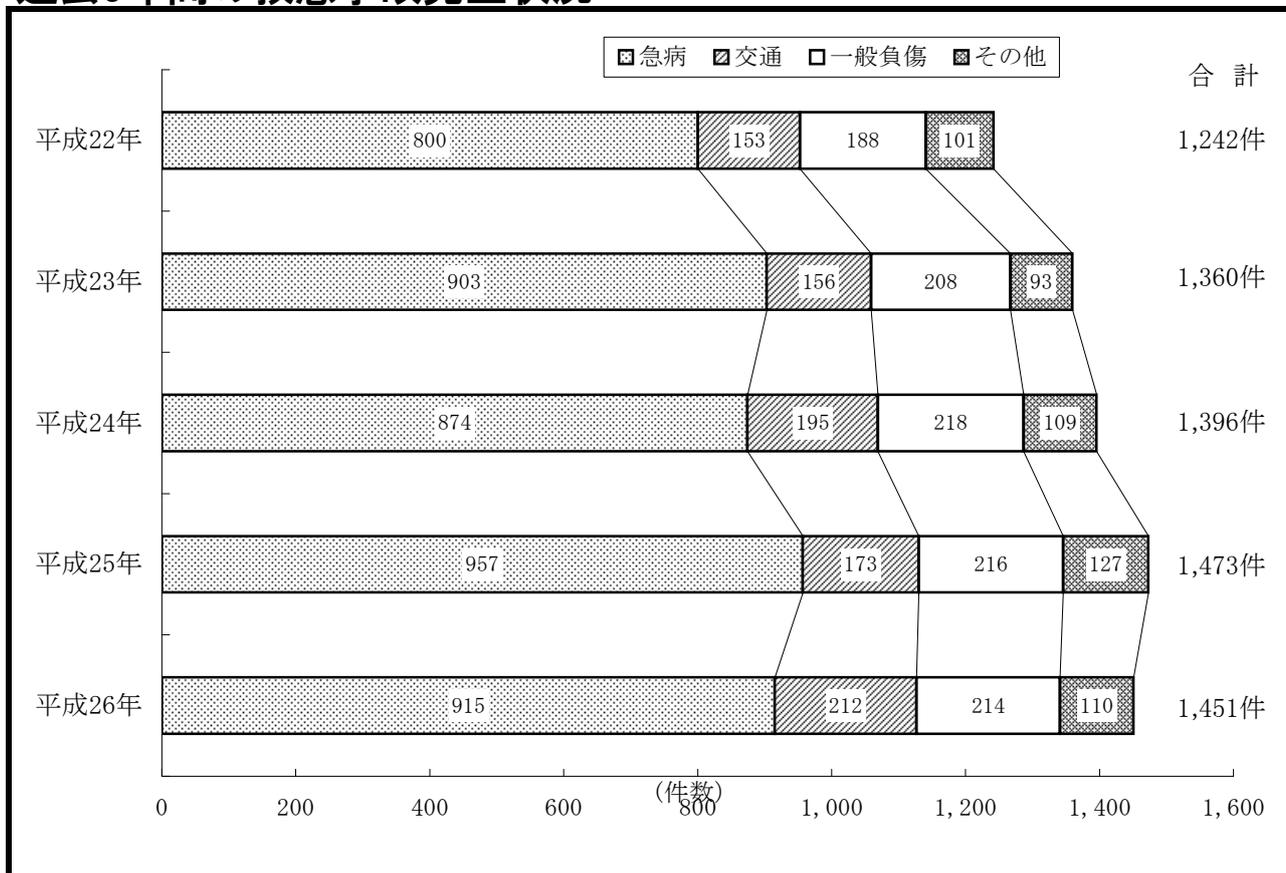
救急事故発生状況

区 別		年 別				
		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
全 国	救急件数	5,463,682	5,707,655	5,802,455	5,909,367	
	発生率	426	446	453	462	
三 重 県	救急件数	78,971	83,223	87,076	90,560	
	発生率	425	449	469	488	
菰野町	救急件数	1,242	1,360	1,396	1,473	1,451
	発生率	309	330	338	355	350

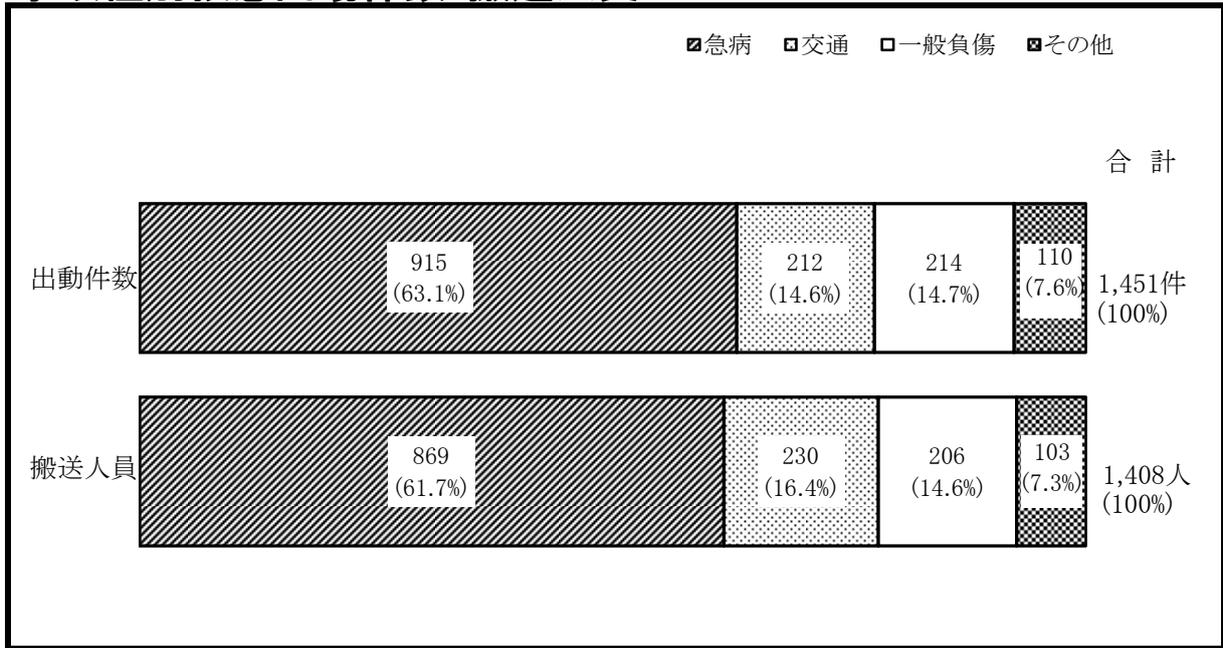
※発生率=救急件数/人口×10,000

※菰野町人口 41,489人(平成26年12月31日現在)

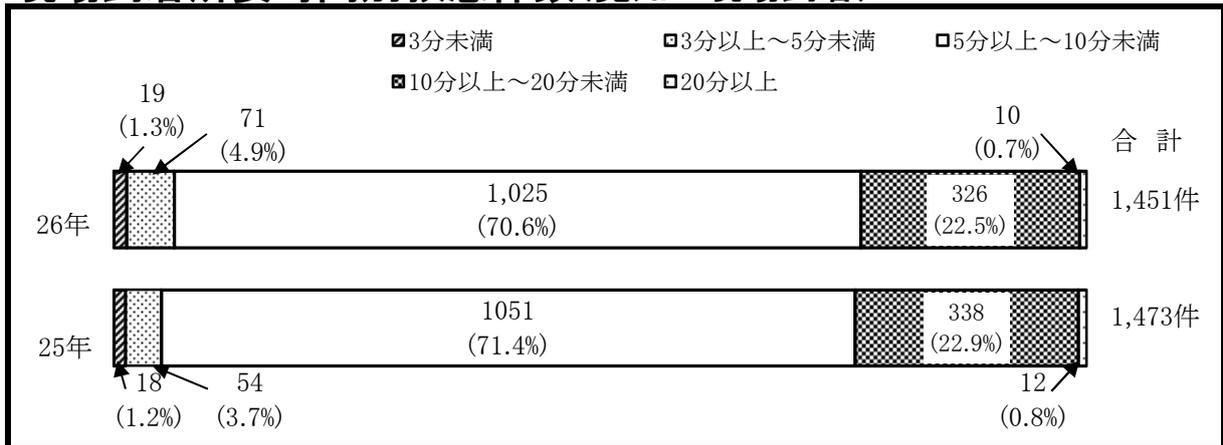
過去5年間の救急事故発生状況



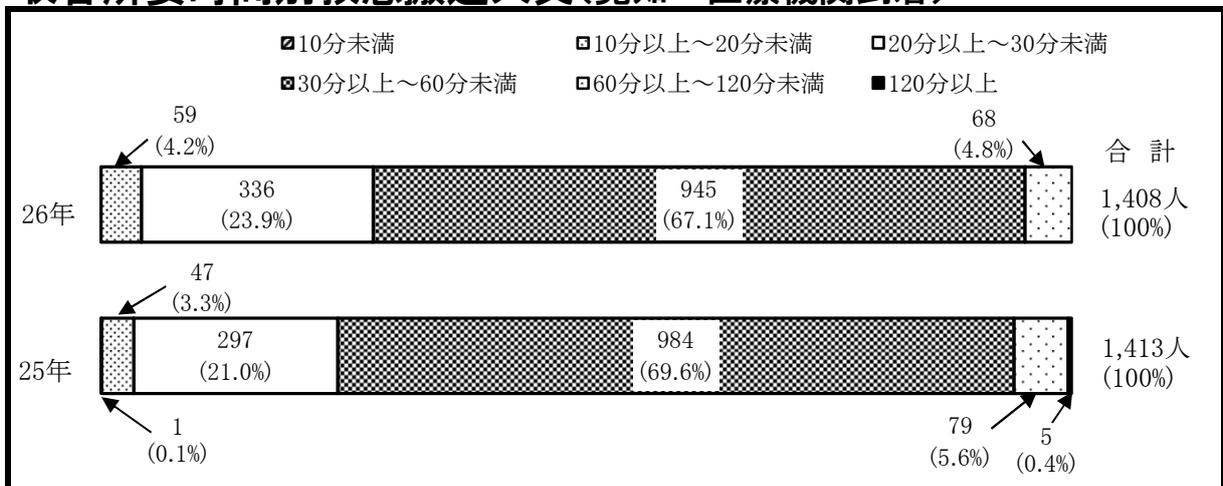
事故種別救急出場件数・搬送人員



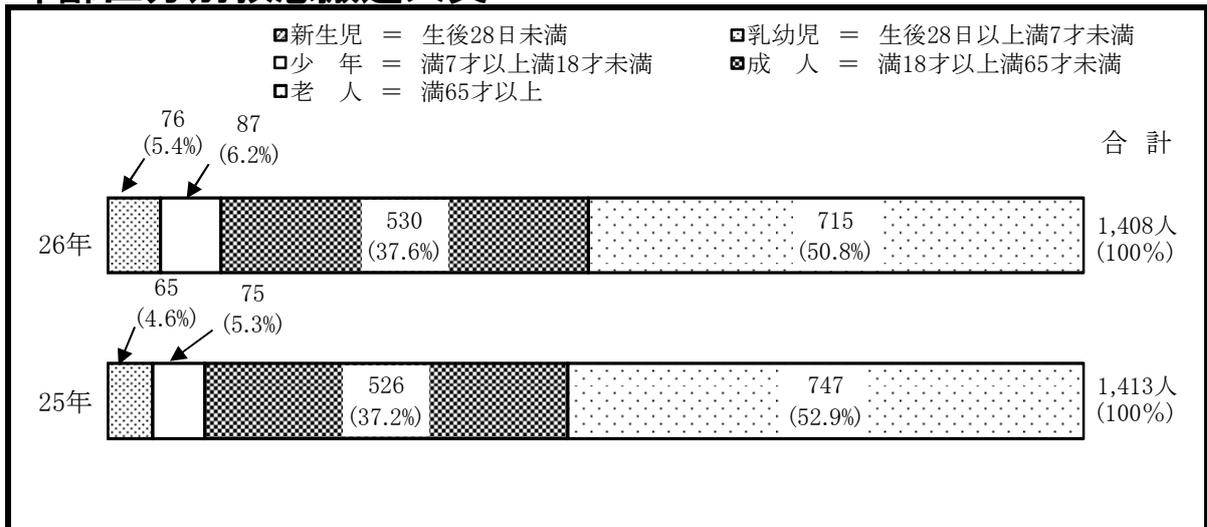
現場到着所要時間別救急件数(覚知～現場到着)



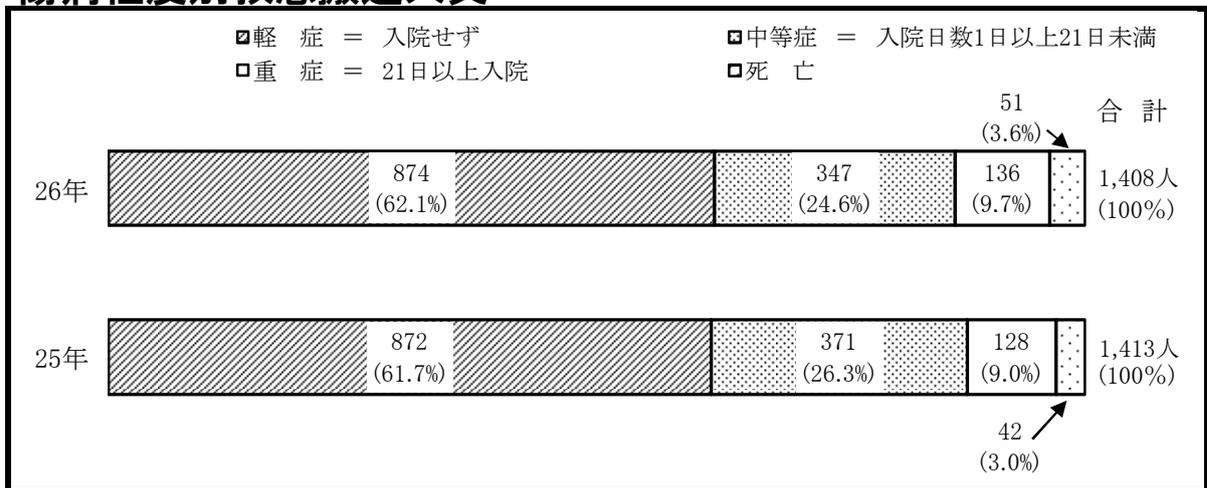
収容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



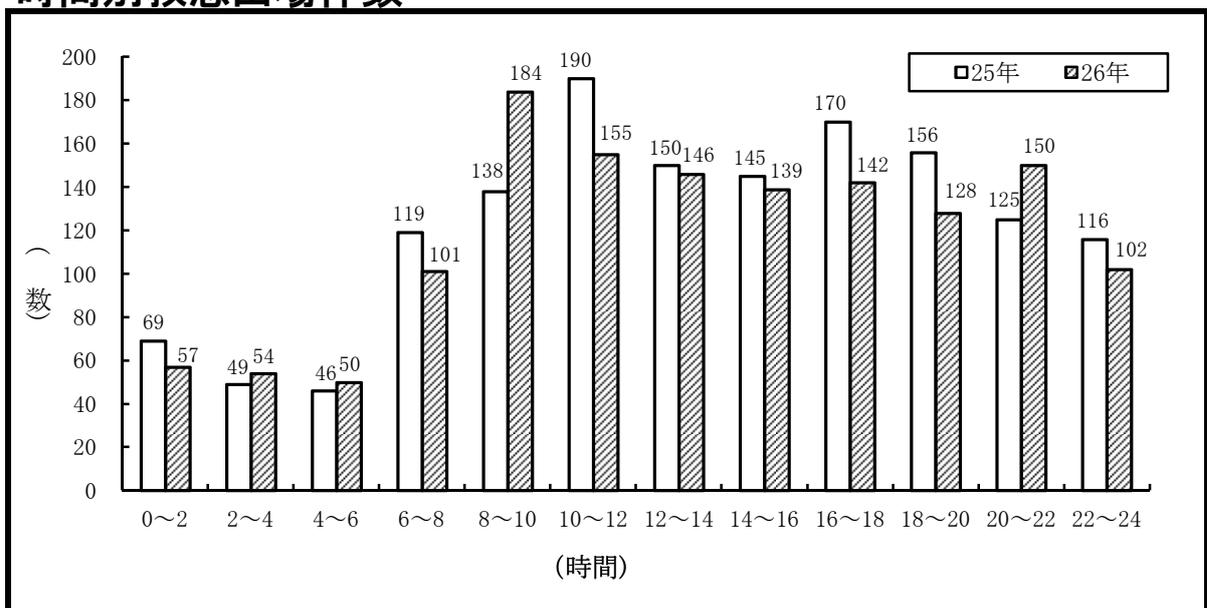
年齢区分別救急搬送人員



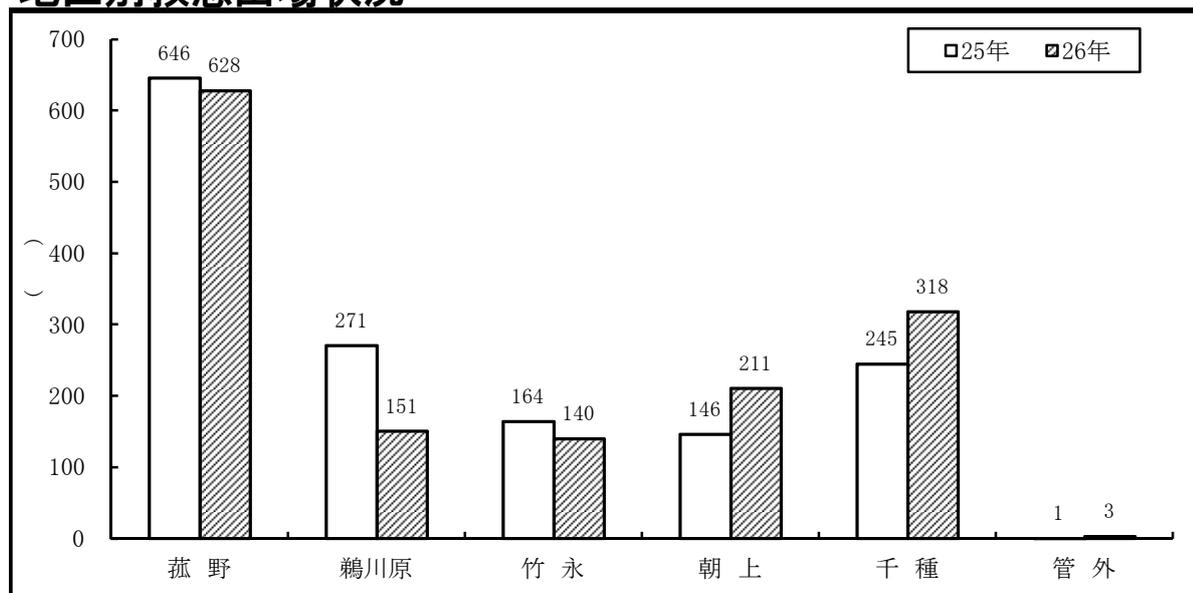
傷病程度別救急搬送人員



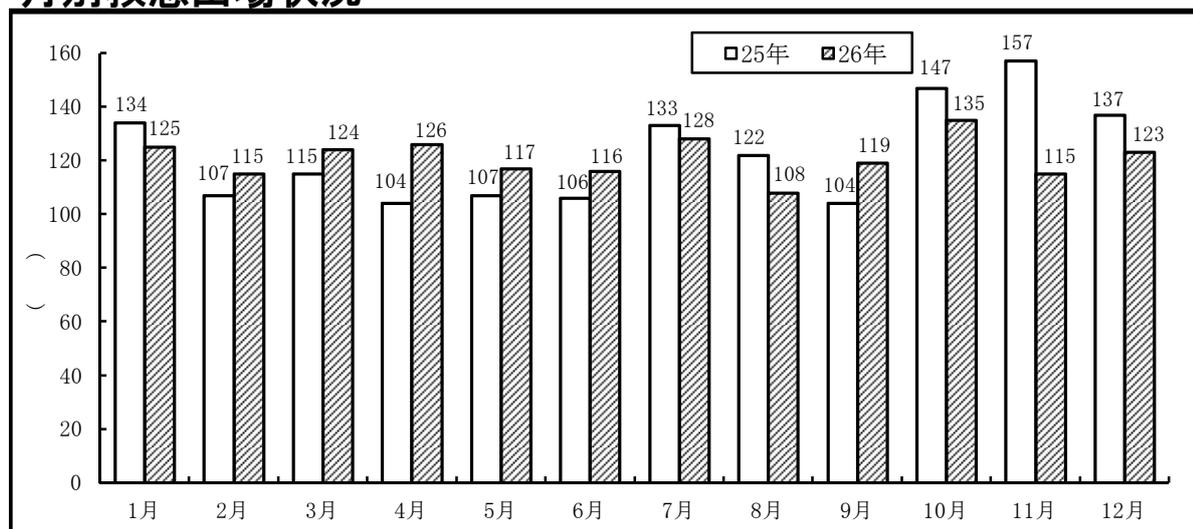
時間別救急出場件数



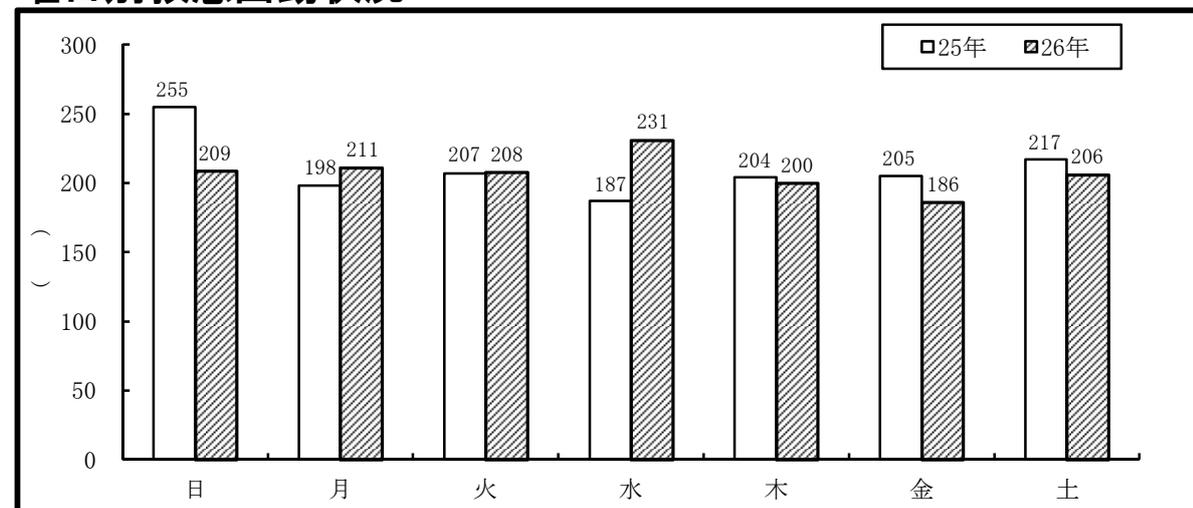
地区別救急出場状況



月別救急出場状況



曜日別救急出動状況



年齢区分別・傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	26年合計	25年合計
死亡				7	44	51	42
重症			1	34	101	136	128
中等症		11	13	92	231	347	371
軽症		65	73	397	339	874	872
その他							
合計		76	87	530	715	1,408	1,413

事故種別・年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	26年合計	25年合計
新生児													
乳幼児				11			20			44	1	76	65
少年				37		6	12	1		30	1	87	75
成人				124	17	6	60	4	6	292	21	530	526
老人	2			58	4		114	1	1	503	32	715	747
合計	2			230	21	12	206	6	7	869	55	1,408	1,413

事故種別・傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	26年合計	25年合計
死亡				1			4		1	44	1	51	42
重症	1			12	1		29			81	12	136	128
中等症				24	3	3	35			242	40	347	371
軽症	1			193	17	9	138	6	6	502	2	874	872
その他													
合計	2			230	21	12	206	6	7	869	55	1,408	1,413

事故種別・時間別救急出場件数

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	26年合計	25年合計
休日		1			33		7	47	4	3	181	4	280	329
休日以外の日		3			179	20	6	167	2	9	734	51	1,171	1,144
時間内	0～2				3			5	1	3	46	1	59	69
	2～4				3	1		5			43	3	55	49
	4～6				6			6			43		55	46
	6～8				22			16		3	64		105	119
	8～10				48	2	2	31	1		103	5	192	138
	10～12	1			25	5	2	21			90	13	157	190
	12～14	2			18	3	5	32			83	4	147	150
	14～16	1			26	4	1	26		1	72	10	141	145
	16～18				27	2	1	21		1	83	7	142	170
	18～20				18	2		18	1	1	88	6	134	156
	20～22				14	1	2	25	1	1	107	4	155	125
	22～24				2			8	2	2	93	2	109	116
26年計		4			212	20	13	214	6	12	915	55	1,451	
25年計		3			173	26	11	216	5	21	957	61		1,473

事故種別・応急処置件数

事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
止血	9	37	50	11	107
固定	11	179	66	24	280
人工呼吸	3		1	2	6
心肺蘇生	37		4	1	42
酸素吸入	227	24	19	22	292
気道確保	44		4	1	49
気道確保(特定行為)	14		1		15
保温	320	81	64	37	502
被覆	2	26	40	9	77
除細動	7		1		8
静脈路確保	12		3	1	16
薬剤投与	7		3		10
その他	2,864	694	578	301	4,437
合計	3,557	1,041	834	409	5,841

※人工呼吸は、単独で行った場合のみ計上。その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等から計上。

事故種別・医療機関別救急搬送人員

告示別等	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		26年合計		25年合計	
	開設別			管外		管外		管外		管外		管外		管外
救急告示医療機関	国立						1	1	2	2	3	3	2	2
	公立		368	368	92	92	86	86	54	54	600	600	656	656
	公的		455	82	131	21	116	32	40	14	742	149	642	107
	私的	病院	31	21	3	3	2	2	7	6	43	32	83	66
		診療所											1	1
	計		854	471	226	116	205	121	103	76	1,388	784	1,384	832
その他の医療機関	国立													
	公立													
	公的		1	1							1	1	3	3
	私的	病院	6	5							6	5	18	17
		診療所	8	7	4		1	1			13	8	8	6
	計		15	13	4		1	1			20	14	29	26
計	国立						1	1	2	2	3	3	2	2
	公立		368	368	92	92	86	86	54	54	600	600	656	656
	公的		456	83	131	21	116	32	40	14	743	150	645	110
	私的	病院	37	26	3	3	2	2	7	6	49	37	101	83
		診療所	8	7	4		1	1			13	8	9	7
	計		869	484	230	116	206	122	103	76	1,408	798	1,413	858
その他の場所	接骨院等													
	その他													
	計													
26年計			869	484	230	116	206	122	103	76	1,408	798		
25年計			899	540	183	101	210	130	121	87			1,413	858

救助出場状況

平成26年中は、19件の救助出場があり、救助人員は11名でした。当町の約3分の1が山岳地帯であるため山岳救助事案が多く、全体の約60%を占めています。

番号	事故種別	覚 知 日 時	※覚 知 別	発 生 場 所	
1	その他 (山岳)	1月 6日 13時 08分	加 入 電 話	菰 野 (湯の山地内)	
2	その他	1月 11日 14時 47分	加 入 電 話	朝 上 (田光地内)	
3	その他	2月 16日 0時 14分	報 知 電 話	菰 野 (宿野地内)	
4	交 通	4月 9日 10時 58分	報 知 電 話	千 種 (千草地内)	
5	その他 (山岳)	5月 7日 11時 38分	報 知 電 話	菰 野 (湯の山地内)	
6	交 通	5月 19日 15時 47分	報 知 電 話	朝 上 (田口地内)	
7	交 通	5月 27日 6時 38分	報 知 電 話	鶴川原(吉沢地内)	
8	その他 (山岳)	6月 12日 14時 48分	報 知 電 話	菰 野 (湯の山地内)	
9	その他 (山岳)	6月 15日 11時 11分	加 入 電 話	菰 野 (湯の山地内)	
10	交 通	6月 19日 8時 30分	加 入 電 話	鶴川原(川北地内)	
11	その他 (山岳)	7月 25日 14時 49分	加 入 電 話	菰 野 (湯の山地内)	
12	その他 (山岳)	8月 28日 14時 53分	報 知 電 話	菰 野 (湯の山地内)	
13	その他	9月 10日 2時 43分	報 知 電 話	千 種 (潤田地内)	
14	その他 (山岳)	11月 8日 11時 07分	加 入 電 話	菰 野 (湯の山地内)	
15	その他 (山岳)	11月 9日 9時 23分	報 知 電 話	千 種 (千草地内)	
16	その他 (山岳)	11月 12日 14時 14分	報 知 電 話	菰 野 (湯の山地内)	
17	その他 (山岳)	12月 21日 15時 32分	加 入 電 話	菰 野 (湯の山地内)	
18	その他 (山岳)	12月 25日 9時 11分	加 入 電 話	菰 野 (湯の山地内)	
19	交 通	12月 25日 14時 46分	報 知 電 話	朝 上 (田光地内)	

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)
加 入 電 話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	可搬ポンプ車	4	御在所岳裏道登山道藤内小屋付近で、倒れた	先着の防災航空隊が救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	救助工作車 救急1号車	4 3	自動車の中での自損行為	車内にて、生命兆候が明確に無かったため警察に引き継ぎを行った
	救助工作車 救急1号車	4 3	自動車が川に転落し、自力脱出困難となった	要救助者は先着の救急隊が救出済みであったため、照明の確保及びハイブリット車の漏電防止措置を行った
	救助工作車 救急予備車	4 3	軽自動車が道路脇の山林に転落し、運転手1名が自力脱出困難となった	車両の固定をした後、要救助者をバックボードを使用した全身固定を行い、車外に救出した
	広報車	4	御在所岳裏道登山道で、転倒し、運転手1名が自力脱出困難となった	要救助者の応急手当を実施後に、防災航空隊がヘリコプターで医療機関へ搬送した
	救助工作車 救急1号車	4 3	自動車が田んぼに転落し、運転手1名が自力脱出困難となった	出場途上で関係者により救出されたとの情報が入り、途中帰所となった
	救助工作車 救急1号車	4 3	交差点内での自動車同士の衝突事故で、横転した車の1名が自力脱出困難となった	要救助者をバックボードを使用した全身固定を行い、車外に救出した
	広報車	4	御在所岳山上公園アゼリア前で、動けなくなった	要救助者の介添えを行い、下山した
	広報車	4	御在所岳一の谷新道で、滑落した	要救助者の全身固定を実施後に、防災航空隊がヘリコプターで医療機関へ搬送した
	救助工作車 救急1号車	4 3	自転車が川に転落した	現場が四日市市との境界付近であり、先着した四日市消防が搬送開始していたため、途中帰所となった
	広報車	4	国見岳から御在所ロープウェイ山上公園駅に向けて登山中、動けなくなった	要救助者と接触時、症状が改善していたため不搬送となり、救助活動無し
	広報車	4	御在所岳裏道登山道で、滑落した	要救助者の全身固定を実施後に、防災航空隊がヘリコプターで医療機関へ搬送した
	ポンプ車 救急1号車	3 3	搬送困難な傷病者の先着救急隊への応援	救急隊3名では屋外への搬送が不可のため、活動支援を行った
	広報車	4	御在所岳大黒岩付近で、身動きが取れなくなった	先着の防災航空隊が救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	広報車	4	釈迦ヶ岳水無沢ルートで、滑落した	要救助者の頸椎固定を実施後に、バスケット担架で搬送した
	広報車	4	鎌ヶ岳湯ノ森谷の沢で、滑落した	先着の防災航空隊が救出し、ヘリコプターで津ヘリポートへ搬送した(その後、津消防救急隊により医療機関へ搬送)
	広報車	4	御在所岳鷹見岩付近で、滑落した	先着の防災航空隊が救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	防災広報車	4	御在所岳大黒滝付近で、滑落した	先着の防災航空隊が救出し、ヘリコプターで医療機関へ搬送した
	救助工作車 救急1号車	4 3	4tトラックと軽自動車の衝突事故で、軽自動車の運転手1名が自力脱出困難となった	車両のウインチを使用してハンドルを引き上げ、車外に救出した

事故種別出場件数・救助人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	26 年 合 計	25 年 合 計
	建 物	他										
出場件数			5							14	19	17
救助人員			3							8	11	12

事故種別・救助出場人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	26 年 合 計	25 年 合 計
	建 物	他										
救助隊員			20							55	75	66
消防隊員												
救急隊員			16							9	25	15
合 計			36							64	100	81

事故種別・救助出場車両

種別 車両	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	26 年 合 計	25 年 合 計
	建 物	他										
救助工作車			5							2	7	4
タンク車												
ポンプ車										1	1	
救急車			5							3	8	5
指揮車												
広報車										9	9	13
積載車												
その他の車両										2	2	
合 計			10							17	27	22

※その他の車両とは、小型動力ポンプ付積載車と防災広報車